

・人 広報



新規就農者激励状贈呈式



主な
話題

新規就農者激励状贈呈式
ビート収穫
第4回JA伊達市アグリフェスタ
サツマイモ実績報告会 その他

12月号
NO.674



TOPICS

今月の表紙……

農業に意欲を持って取り組む方に、毎年ＪＡグループ北海道五連より
 激励状が送られています。今年は８名の方々に激励状が授与されました。
 担い手として今後の活躍が期待されます！

■ 新規就農者 激励状贈呈式

11月28日(火)、新規就農者激励状
 贈呈式がＪＡ伊達市本所で行われました。

親元就農をした８名には佐藤組合長
 から激励状と記念品が手渡され、担い
 手として営農していく方々へ激励の言葉
 がかけられました。

また、今後の農業の発展と豊かな自然
 を守っていくべく、それぞれが志高
 い抱負を述べられていました。



贈呈式の様子

〈新規就農者紹介〉



あら かわ しゅう
荒川 秀さん
 (経営者 荒川盛興さん)
 長和地区
 施設園芸・露地野菜



おう さか とし なり
逢坂 敏成さん
 (経営者 逢坂裕明さん)
 登別市
 肉用牛(繁殖)



お がた まさ ひろ
尾形 正博さん
 (経営者 阿部昭夫さん)
 東地区
 酪農



お がた ゆき こ
尾形 由起子さん
 (経営者 阿部昭夫さん)
 東地区
 酪農



さいとうよしひろ
齊藤 慈大さん

(経営者 齊藤周一さん)
黄金地区
肉用牛(繁殖)



ふじかわなより
藤川 奈和さん

(経営者 藤川秀俊さん)
有珠地区
施設園芸(野菜)



ふじかわいくみ
藤川 郁美さん

(経営者 藤川秀俊さん)
有珠地区
施設園芸(野菜)



ふるやまはるき
古山 青希さん

(経営者 古山美和さん)
稀府地区
施設園芸・露地野菜

■ 廃プラ回収作業

11月9日(休)から10日(金)の2日間、SDGsの取組の一環として農業用廃プラスチックの回収作業を行いました。

組合員の方々が搬入した塩ビやポリの入ったフレコンバックをフォークリフトで降ろし、重量を計測し回収しました。

今回は、135件の組合員の廃プラが塩ビとポリを合わせて48t回収され、前回6月の回収分より4t減少しました。

回収された廃プラは資源の有効活用の観点から、破碎・溶解処理などを経て再生資源として生まれ変わります。



回収のようす

■ ビート収穫

11月上旬、伊達市内各地の圃場でビートの収穫作業が例年より一足早く始まりました。

今年は夏の高温の影響を受け褐斑病の発生が多く見られたことから収量、糖度共に低下の傾向にあります。

ビートの作付面積は、他作物への転換等により今年は前年よりも38ha減少し252haとなりました。

ビートの作付においては、今年は北海道糖業と連携しドローンを用いての防除による実証実験も行われ、スマート農業技術を活用したコスト削減への取り組みが進められています。



ビートの収穫のようす

■ 第4回JA伊達市アグリフェスタ

11月18日(土)、伊達市スマート農業協議会は第4回JA伊達市アグリフェスタを開催しました。

昨年より「アグリフェスタ」として標題を改めたこの「農機展示会」、今年は地域密着を図り一般の方にも農業への関心を高めてもらえるよう会場をグリーンセンターに移し開催されました。

当日はトラクターやコンバイン、ドローンや自動操舵装置の展示などはもちろん、自動灌水システムや農業工具、農作業用グッズの販売など13社が集いました。飲食店コーナーにはキッチンカーも多数出店し伊達市内や近隣市町村の農家や一般の方々と賑わいました。



展示されたトラクター

JA 青年部



■ 日胆地区JA青年部研修大会

11月20日(月)、伊達市農協青年部の部員3名は日胆地区JA青年部研修大会に出席しました。

この研修大会では「動画で発信!農の魅力」コンテストや、アームレスリング大会が開催されました。「動画で発信!農の魅力」コンテストは、各JAが制作した30秒の動画でいかに農業の魅力を伝えることができるかというコンテストで伊達市農協青年部はサツマイモの食育活動をメインにした動画で特別賞を受賞しました。

また、アームレスリング大会では長和地区の佐

藤俊史さんが他を寄せ付けない強さで優勝に輝き、12月に行われる全道JA青年部大会に日胆地区代表として出場することが決定しました。



優勝した長和地区の佐藤俊史さん

■ サツマイモ実績報告会

11月22日(水)、ホテルロイヤルで令和5年度サツマイモ実績報告会が開催されました。

報告会にはサツマイモ生産者をはじめ、伊達市役所や普及センターなどの関係機関合わせて約25名が参加し、令和5年度の収量報告や栽培及び販売に関する課題、令和6年度の取り組み事項などが報告されました。

今年の作付面積は約2.6ha。苗の育苗にも取り組み、全圃場の約半数を占める35,000本が採苗されました。また、作業機械を導入し生産者の作業負担軽減に対する取り組みも行われました。

令和5年度の収量は出荷実績で前年同水準、試験的に道内市場への出荷も試み上々の評価を得ました。令和6年度は作付面積を5haに拡大する予定です。



実績報告会のようす

地区別組合員懇談会日程

令和6年1月9日(火)～13日(土)

※10日(水)を除く

日	時	地 区	会 場
9日(火)	10:00～	黄金・室蘭地区	は ま な す 館
	13:30～	東 地 区	未 来 館
11日(木)	10:00～	稀 府 地 区	中 稀 府 会 館
	14:00～	登 別 地 区	登 別 支 所 2 F
12日(金)	10:00～	中 央 地 区	本 事 務 所 2 F 会 議 室
	13:30～	関 内 地 区	関 内 福 祉 会 館
13日(土)	10:00～	有 珠 地 区	白 鳥 館
	13:30～	長 和 地 区	ふ れ あ い 館

令和5年度 年末年始営業日程

令和5年12月30日(土)～令和6年1月9日(火)

	本 所			登別支所	クミカン 窓 口	グリーン センター	機 械 センター	マーケッ ト	授 精 生乳検査	麦乾施設 精 米
	共 済	貯 金 窓 口	ATM	ATM						
12/30(土)	×	×	×	×	×	○	○	9:00～ 20:00	○	×
12/31(日)	×	×	×	×	×	×	×	9:00～ 17:00	○	×
1/1(月)	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×
1/2(火)	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×
1/3(水)	×	×	×	×	×	×	×	9:30～ 17:00	○	×
1/4(木)	×	8:30～ 17:15	8:30～ 17:00	×	×	×	×		○	×
1/5(金)	8:30～ 17:15			×	×	×	×	○	○	×
1/6(土)	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×
1/7(日)	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×
1/8(月)	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×
1/9(火)	全 業 務 平 常 営 業									

ご理解・ご協力よろしくお願いします。

室蘭労働基準監督署からのお知らせ

今年もいよいよ年の瀬が押し迫ってまいりました。先月もお知らせしたとおり、機械の清掃や点検・整備は、翌年、快適に作業を行うためにとても重要なものです。また、これからの時期は降雪、低温及び強い季節風などの冬季特有の気象条件の影響により、積雪・凍結・寒冷による転倒災害、屋根上等の高所における除雪中の墜落災害、除雪機への巻き込まれ災害、自然換気が不十分なビニールハウス内等で暖房機を使用した一酸化炭素中毒、スリップによる交通労働災害が多発する傾向となります。

そのため、以下について特に注意し、無災害で1年を締めくくりましょう。

- ① 高所作業を伴うビニールハウス等の点検・メンテナンスにあたって、墜落・転落防止対策を行いましょう。
- ② 機械設備の点検・メンテナンスにあたって、機械設備のエンジンを常時止めて行いましょう。
- ③ 資材の整理にあたって、脚立やはしごを適切に使用し、また資材を高く積みすぎないようにしまししょう。
- ④ 除雪作業にあたって、高所作業による墜落・転落防止対策を、地上作業においては除雪機への巻き込まれ防止対策及び落雪災害防止対策を行いましょう。
- ⑤ 自然換気が不十分なビニールハウス内等において、ガソリン等を動力源とする暖房機の使用は一酸化炭素中毒の原因となりますので、使用を控えるか、使用する場合は、十分な換気を定期に行うよう心がけましよう。
- ⑥ 転倒災害を防止するため、滑りにくい靴を使用し、屋内に入る場合は、靴底に付着した雪、水分の除去を行いましょう。
- ⑦ 冬道を運転する場合は、路面状況、天候に合わせた速度で走行し、十分な車間距離の確保及び早めのブレーキを励行し、危険を予測しながら運転をしまししょう。



加速する「食」のグローバル化

有事にも食料供給の安定をはかるために

なぜ今?
国消国産

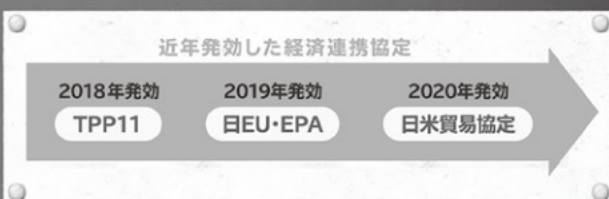
農産物の輸入額は大きく増加

日本の食料自給率(カロリーベース)は38%と低迷していますが、2000年からの約20年間で、農産物の輸入額は約2.3兆円も増え、2020年には約6.2兆円輸入しています。一方で、輸出額は同じ期間に約4,900億円増加し、2020年の輸出額は約6,600億円となっています。



「食」のグローバル化が、日本の食料供給に与える影響

近年、農産物市場を含めた経済連携協定の発効がすすみ、「食」を取り巻くグローバル化が加速しています。これらの経済連携協定は、私たちの食生活に豊かさを与えてくれる一方で、日本にとっては食料の輸入増加を促す可能性があり、それは結果として、さらなる食料自給率の低下を招く可能性もあります。



だから今!
国消国産

「国消国産」で、輸入に依存せず食料供給に安定を

食料自給率が低い状態で万一輸入がストップしてしまったら、国内の食料需要を満たせるのか。コロナ禍で実際に、約20か国が食料の輸出規制に踏み切りました。幸いにも、それらの国から日本は食料を多く輸入していなかったため、大きな影響はありませんでしたが、

輸出国もいざという時は自国内の供給を優先する傾向がわかりました。「食」のグローバル化がすすむ中だからこそ、「国」民が必要とし「消」費する食料は、できるだけその「国」で生「産」するという「国消国産」をすすめていくことに、大きな意味があります。

- 1 日本の農産物輸入は増加傾向で、2020年の輸入額は6.2兆円にのぼる
- 2 「食」のグローバル化がすすみ、さらなる食料自給率低下の可能性
- 3 輸出国もいざという時は自国内の供給を優先、「国消国産」で食料供給に安定を



JAグループサポーター・林修



耕そう、大地と地域の未来。JAグループ



令和
5年度の
活動の
概要

▶第8回理事会…令和5年11月28日(火)

- 第 1 号 役員に対するクミカン供給限度額の変更について
- 第 2 号 クミカン供給限度額及び貸越極度額の変更について
- 第 3 号 長期延滞者の回収について
- 第 4 号 資産査定要領及び自己査定マニュアル並びに担保評価マニュアルの一部改正について
- 第 5 号 不祥事対応要領及びコンプライアンスマニュアルの一部改正について
- 第 6 号 第2・四半期監事監査回答(案)について
- 第 7 号 第3・四半期監事監査日程について
- 第 8 号 年末賞与支給案について
- 第 9 号 農事組合長会議及び地区別組合員懇談会日程案について
- 第10号 年末年始の業務日程案について
- 第11号 任期満了に伴う総代選挙に係る日程について
- 第12号 農事組合長会議の議案について
- 第13号 出資金持分譲渡について
- 第14号 第8次農業振興計画／中期経営計画の検証と第9次農業振興計画の素案について

農事組合長会議日程

- 日時: 令和5年 **12月18日(月)**
10時00分より
- 場所: 伊達市農協本所 2階会議室



未来を変える。 みんなで変える。

国営緊急農地再編整備事業

「伊達地区」 Vol.74

中央要請活動を実施

11月16日に期成会長をはじめ役員1名、市長、事務局で上京し、工事の進捗状況の報告と、来年度以降の継続的な予算計上を求める要請活動を行いました。

今回の要請活動においても、地元である北海道9区選出の堀井学内閣府副大臣に同行いただき、関係省庁を訪問。昨年度から期成会で作成している伊達地区のPR動画を視聴いただきながら、伊達市の農業のさらなる発展のため、継続的な事業実施の必要性について訴えました。



◆問い合わせ先

伊達地区国営緊急農地

再編整備事業促進期成会事務局

(伊達市 経済環境部 農地整備課内)

TEL0142-82-6161 (直通)

発行 伊達市農業協同組合(営農指導課編集)

〒052-8666 伊達市末永町74 TEL 0142-23-2181

E-mail kouhou@ja-dateshi.or.jp http://www.ja-dateshi.or.jp



ホームページ



フェイスブック



インスタグラム

